

## JICA 中国事務所ニュース

2009年8月

### 目次

#### 【トピックス】

- ◎ 「JICA 医療分野帰国研修員同窓会」が山西省無料問診活動を実施…………… 1
- ◎ 心の目で見える映画館「心目影院」をより多くの人々へ…………… 2
- ◎ 民訴法プロジェクトセミナーを北京で開催…………… 3

#### 【ニュース】

- ボランティア総会を開催…………… 4
- 陝西省水環境通水試運転式典が行われました…………… 4

【帰・赴任者紹介コーナー】…………… 5

【寄稿コーナー】…………… 7

### 最近のトピックス

#### 「JICA 医療分野帰国研修員同窓会」が山西省無料問診活動を実施

2009年8月1日～2日に、JICA 医療分野帰国研修員同窓会(以下「同窓会」と言う)メンバー20名(医師15名及び事務局5名)が山西省忻州市・五台县両地域にある忻州市人民病院及び五台县人民病院で無料問診活動を実施しました。当事務所から岡田次長と周南所員も参加しました。

同窓会は2006年～2008年3年連続で北京郊外、甘肅省、河北省の地方病院及び四川地震被災地で無料問診活動を実施し、地方住民より高く評価され、貧困地域医療水準の向上、日中両国国民間の相互理解と信頼の増進にも大きく貢献しています。



同窓会の活動は地元から「熱烈歓迎」されました



問診の順番を待つ患者さん達

同活動は忻州市政府、忻州市衛生局の協力を得て、両病院の多く医者、看護婦と同窓会メンバーとの協力により問診活動が進められました。

同窓会は無料問診のほか、経済的理由から治療に必要な薬が購入困難な難病の患者家庭を対象に、医薬品の無料贈呈を行いました。

地方の患者さんにとって、北京のハイレベル病院の主任医に診察してもらうチャンスがほとんどなく、早朝4時頃から番号札をとるために並んだとの患者さんもいて、二日間での

問診患者は700名に達しました。(忻州市約500名、五台县約200名)。無料問診活動については、地元に関心も高く、地元のTVの夜のニュース番組で約5分間に渡り、詳しく報道され、また、翌日の新聞にも活動が紹介されました。

同窓会は今後も引き続きこのような無料問診活動を実施していく方針であり、また健康診断、医療知識資料配布など様々な形で活動を継続する方向を検討しています。

(相互理解班 周南)

## 心の目で見える映画館「心目影院」をより多くの人々へ ～草の根技術協力として JICA 初の視覚障害者支援がスタート！～



セレモニーの様子(紅丹丹敷地内の中庭にて)

目から入る情報量を「1000」とすると、耳から得られる情報は「100」、触覚から入る情報は「10」と言われています。人間にとって視覚というものはそれほど大切な情報入手手段ということがわかりますが、中国では現在、この視覚に障害を持つ方が1000万人以上もいると言われていています。日本では点字図書や録音雑誌、映画・テレビの副音声放送など、視覚障害者でも十分な情報を得られるサービスが定着してきています。その歴史は45年前にまでさかのぼり、NHKでは当時の東京オリンピックを契機として副音声放送をスタートさせたようです。昨年の北京パラリンピックでは、視覚障害者向けに生放送での副音



副音声を録音・編集する方法を説明する日本の専門家

声放送が行われるほど、その技術は進歩しています。

そのような中、日本で副音声技術を始めとする視覚障害者向けの情報提供サービスを牽引してきた「日本点字図書館(社会福祉法人)」がこの度、北京市内にあるNGO「北京紅丹丹教育文化交流中心」とともにJICAの草の根技術協力事業を行うこととなり、8月3日にオープニングセレモニーが開催されました。

北京紅丹丹教育文化交流中心は、早くから視覚障害者を対象とした映画鑑賞会やラジオ番組の制作、雑誌の読み上げサービスを提供するなど、中国でも先駆的な取り組み

を行っている団体です。特に、敷地内に併設された“心の目で見える映画館「心目影院」”ではボランティアがスクリーンを見ながらセリフとセリフの間にシーンの解説を入れて映画を上映しており、地域の視覚障害者にも好評を博しています。

今回のプロジェクトでは、このようなサービスをより多くの人々へ届けることを目指したもので、日本点字図書館のノウハウを基に、副音声の解説シナリオの製作、DVDへの録音・編集と貸し出し、DAISY(録音図書・雑誌の世界規格ソフトウェア)の活用、ラジオ番組制作

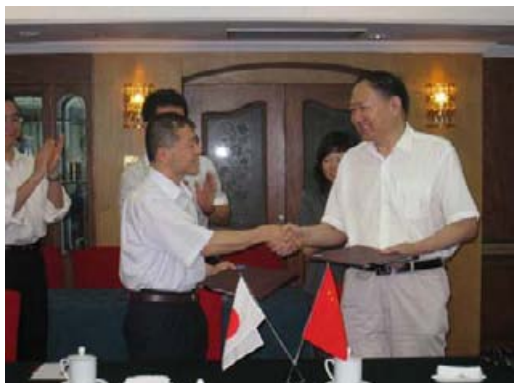
などを2年間かけて支援する予定です。

オープニングセレモニーでは、実際に「心目影院」に通っている視覚障害当事者の方から「今日は祝日のような気分！われわれに対するサービス提供の水準を高めようとして取り組んでいらっしゃることに感謝します」と喜びの声が聞かれました。

(保健医療/社会保障班 小田遼太郎)

★ [コチラもご覧ください！](http://www.jica.go.jp/topics/2009/20090810_01.html) ⇒  
[http://www.jica.go.jp/topics/2009/20090810\\_01.html](http://www.jica.go.jp/topics/2009/20090810_01.html)

## 民訴法プロジェクトセミナーを北京で開催



協議議事録の署名を行なった  
全人代法制工作委员会の高志新主任(右)と  
JICA 森千也調査団長

7月20日と21日、北京市で「日中権利侵害責任法セミナー」が開催されました。このセミナーは「民事訴訟法・仲裁法改善プロジェクト」の一環として実施されたものです。

「権利侵害法」とは、日本の民法における「不法行為法」に相当するもので、交通事故や、医療事故等と言った私達の生活の中での紛争の解決方法を示す重要な法律です。このプロジェクトのカウンターパートである全人代法制工作委员会民法室は、現在この法律の起草のために注力しているため、JICAも「民訴法プロジェクト」の枠組みの中で支援することとし、今回のセミナー開催の運びとなりました。

セミナーには日本から一橋大学の上原敏

夫教授を始めとする日本のトップレベルの専門家7名を招き、このプロジェクトの長期専門家として北京に駐在している弁護士の住田専門家、そして日本大使館から長田雅之書記官の参加も得て、全人代民法室等からの約20名の参加者と共に、無過失責任、因果関係の立証責任、共同不法行為と言った専門的課題について深い議論が展開されました。中国の権利侵害責任法の立法作業が、まさに進行している段階で日本の専門家と意見交流を行ったのは非常にタイムリーであり、意義の大きな議論であったと全人代側から高く評価されました。

また、このセミナー開催後の8月3日から5日にかけては、このプロジェクトの枠組みの協議のための調査団が JICA 本部から派遣され、プロジェクトの設計図とも言える PDM (Project Design Matrix)と呼ばれる文書の変更について、JICA と全人代側で合意しました。これは権利侵害法に対する支援も JICA として引き続き行なうことを文書で確認したものです。全人代側からはこれまでの JICA の協力に関し謝意が示されると共に、権利侵害法、民訴法と言った重要法案への起草作業が続くため、継続した協力が求められました。

日中のハイレベルな専門家による中国民事法の中核となる法律への協力作業が、今



後ももっと充実するよう、事務所として最大限の努力をしたいと考えています。

(改革開放班 宗雪)

## ニュース

### ボランティア総会を開催



ボランティア隊員からの自己紹介

7月27日に2009夏季ボランティア総会がJICA中国事務所で開催されました。

総会では、黒龍江省から海南省まで中国各地で活躍する青年海外協力隊及びシニア海外ボランティアが年2回北京に集まり、情報交換や活動の報告などを行います。今回

は2007年6月から現在まで赴任した33名が参加しました。当日はノンフィクション作家で北京人民ラジオ・広東ラジオでキャスターとしてご活躍されている青樹明子さんから「中国の若者文化」について、日本国際交流基金会日本文化センターの藤田安彦所長から「中国における日本企業の社会貢献活動」についての講演も行われました。さらに翌日は、日本語教師と医療隊員と別れて、活動先での成功例や悩み相談も含め勉強会を開催。

半年ぶりに顔を合わせたボランティアのみなさん。夜遅くまで配属先での活動の話はもちろん、任地からの土産話や恋話(こいばな)に花を咲かせたようです。

(ボランティア班 鈴木大介)

### 陝西水環境通水試運転式典が行われました



通水ボタンが押される瞬間

右から: 西安市楊広信副市長、陝西省洪峰副省長、JICA中里太治次長

2009年7月28日、西安市に所在する7つの下水処理場の竣工及び通水試運転式典が盛大に開催されました。そのうち、涇渭・西南郊下水処理場は円借款支援により建設されており、当事務所からは、中里太治次長が参

加しました。式典には、陝西省洪峰副省長、西安市楊広信副市長をはじめとする政府高官等が多数参加しており、陝西省及び西安市がそれら下水処理事業を重視していることが伺えました。式典では、陝西省副省長、西安市副市長、中里次長による祝辞に続き、通水ボタンを押して、試運転の正式開始を宣言するといったイベントも盛り込まれていました。陝西省・西安市テレビ局は当日夜のニュースで式典の盛況ぶりを放送し、また、新聞等多くのメディアにおいて一斉にこのニュースを報道するほど注目を集めていました。

西安市の近くを流れる渭河は、近年、野鳥等が徐々に飛来するようになったという話も聞きます。西安市にて取り組まれている円借

款の汚水処理事業は、まだ道半ばであり、支援対象の各汚水処理場は早期の完成を目指して工事が行なわれていますが、将来、野

鳥や魚であふれるきれいな渭河に生まれ変わることを願ってやみません。

(円借款班 王飛)

## 帰・赴任者紹介コーナー

### (1) 長期専門家 水谷明大

#### 耐震建築人材育成プロジェクト チーフアドバイザー／建築行政担当



昨年5月12日に四川省で発生した大地震の被害は、世界中の人々に大きな衝撃を与えました。その光景は皆様の記憶にも新しいことと思います。

震災後の復興に向けた政府間の協議を踏まえ、7月には両国の首脳会談において「一つの全体計画と五つの柱」に基づいて日中間の協力を展開することが確認されました。この度、五つの柱に掲げられた「まちづくり」分野の協力の一つとし

て、震災からちょうど一周年にあたる2009年5月12日に「耐震建築人材育成プロジェクト」のR/Dが調印され、6月1日をもって当プロジェクトがスタートしました。

3年間のプロジェクト実施期間中に150名の本邦研修、これらの研修生を核に国内で5,000名の研修を行うという計画で、既に第一回目の本邦研修の申請書がJICAにも提出されたところです。プロジェクトとしては異例に多数の研修生を受入れ、国内での研修を展開する計画ですが、これでも中国における建築物の耐震性向上に向けた人材確保という観点からは全く不十分と言わざるを得ません。中国全土への水平展開と持続性ということ意識してプロジェクトを進めることが重要な課題と感じているところです。

私自身は5月8日に着任し、R/D調印に立会い、その後のプロジェクト立上げの準備にも携わって来ましたので今更着任のご挨拶でもないですが、改めまして関係者の皆様にはご協力賜りますよう宜しくお願い致します。

### (2) 長期専門家 三瓶昭彦

#### 耐震建築人材育成プロジェクト 耐震設計(構造)



みなさま、はじめまして。7月14日に「耐震建築人材育成プロジェクト」の耐震設計(構造)の専門家として着任致しました三瓶です。

昨年5月12日、四川省で発生した大地震は死者・行方不明者数8万7千人以上で犠牲者の多くがその家屋の下敷きとなりました。本プロジェクトは、日中首脳会談で取り決められたその復興支援プロジェクトの一つです。主に地方の

耐震対策が緊要と考えられる建物の設計・施工に関わる技術者や行政官(約 150 人)が日本で研修を受け、さらに、それらの人材が中国国内で講師として技術者(約 5,000 人)の育成を行うというものです。

個人的には、2002 年から都合約 3 年半、「JICA ルーマニア地震災害軽減計画プロジェクト」の耐震構造の専門家として参画しましたが、このような類似のプロジェクトに再び関わることになり、大変うれしく思っています。

妻も最近到着し、夫婦での生活が始まりました。中国での生活をする中で、様々な中国文化や人々に触れたいと考えています。

### (3) 長期専門家 山下市二

#### 持続的農業技術研究開発計画プロジェクト チーフアドバイザー



「中国持続的農業技術研究開発計画(第2期)」チーフアドバイザー山下市二です。2002 年から 2007 年の5年間実施された本プロジェクトは、当初、2007 年中には再開するものと思われていましたが、2年余りのブランクを経て2009年4月に、「第2期—環境に優しい農業技術開発及び普及」がスタートしました。第1期の成果を農業現場に普及することが主な目的になっており、実質的な普及のために技術面だけでなく、中国農業政策に反映すべきとの認識に立って対応する体制が

とられています。

私は、チーフアドバイザーとして再登場させていただくことになり、7月中旬に中国農業科学院内の日中農業技術研究開発センターに着任致しました。幸いなことに、プロジェクトの総括責任者、実施責任者、C/P など、多くのメンバーが気心の分かった人たちなので、お互い遠慮無く議論をしながら進めていきたいと思っております。

### (4) 長期専門家 鳥取寛

#### 持続的農業技術研究開発計画プロジェクト 農業環境技術普及



先月の17日、農林水産省から参りました鳥取寛です。

主な活動内容は、プロジェクトチーム及び農業科学院の方々と共に、これまで食糧確保を優先して農薬や化学肥料を大量に使用し、環境配慮にきちんと対応していなかった状態から、深刻な環境汚染が生じて手遅れになる前に脱却しましょう、つまり「環境に優しい農業技術の開発とその普及」を行っていくことです。

また、個人的には頭を使うことよりもボール



を蹴ったり、泳いだりすることに自信がありますので、オリンピック後でもあり、スポーツをする環境がよく整備された街を有難く感じつつ、体が鈍らないよう活動もしていきたいと考えています。

この国の人々や皆様との公私に渡る日々の交流を通じ、出身地にある横浜中華街でも北京の話が出来る程の「通」になりたいと家族共々願っています、どうかよろしくお願いいたします。

## 寄稿コーナー

JICAは、過去20年以上にわたり、中国初の総合リハビリセンター開設、理学療法士・作業療法士といったリハビリ専門職の4年制学部コースの開設等の取り組みを行ってきました。今夏、国際医療福祉大、埼玉医科大でリハビリ分野等を専攻する学生が、中国でのリハビリテーションの状況を学習するために訪中し、リハビリセンターでの研修に参加しました。以下では、その研修に参加された方の感想を紹介します。 (相互理解・人材育成班/登坂宗太)

## 中国リハビリテーションセンターでの海外研修を経験して

### ◆ 病院管理に関する中国と日本の違い



国際医療福祉大学生の研修の様子

私は、栃木県大田原市にある国際医療福祉大学で医療経営管理について学んでいる大学生です。今回、中国と日本の病院管理体制の違いを学ぶため、「海外保健福祉事情」の授業の一環として中国リハビリセンターを訪れました。

そこでの実習では、中国側から主に管理に関わる事務室、職員管理室、受付、財務会計室等の各部署の職員の方々に仕事内容などについて説明を受け、一方、日本における管理体制について私の学んだ限りの説明を行いました。そのなかで、私が双方の管

理体制の違いとして気づいたことは、医学・医療に関する知識を備えた人が管理業務に携わっているかどうかでした。すなわち、日本と比べて中国の方が管理業務をキャリアアップの一つとして重要視しており、また、管理業務に携わるのは、医師だけではなく、NS、PT、OTという専門知識・専門技能をもつ人が病院の管理・運営を行っていました。言い換えると、医学・医療について医師とほぼ対等にコミュニケーションがとれるということです。

この違いが、今後、日本の病院管理業務のあり方を考える場合に欠かせない重要な視点であることを、私はこの実習を通じて認識することが出来たものと考えます。

### ◆ JICA 中国事務所を見学して

実習期間中の8月5日、(これまでJICAについては「海外福祉事情」の授業で大まかには学んでいましたが)十分な予備知識のないままにJICAプロジェクトの定例会議を見学する機会を得ました。また、8月6日にはJICA 中国事務所を訪問し、中国における円借款、技術協力プロジェクト、青年海外協力



独立行政法人 国際協力機構  
中華人民共和国事務所

北京市朝陽区東三環北路5号 北京發展大廈400室 郵便番号：100004  
TEL：+86-10-6590-9250 FAX：+86-10-6590-9260

隊事業などについて、担当の方々からお話を伺うことが出来ました。

そのときに感じたことは、JICA がこれからもより多くの専門家等を開発途上国に派遣することが必要であるということでした。つまり、専門家等をより多く派遣することにより開発途上国は多くのものを得ることが出来、他方、日本人専門家が活動等を通じて得ることが出来た情報・経験等が日本社会の向上につながるのでは、ということでした。そして、ODA の実施を通してヒト・モノ・カネそして情報を共有することにより、日本社会の向上につなげるという「理想の実現」のためにも、こ

ういった国際協力活動を JICA だけの取組とせず、日本社会全体が取り組んでいくことが必要であると感じ取ることが出来ました。

また、もっと多くの若者が、JICA の活動を含め、我が国の国際協力活動に興味を抱き、斬新かつ独創的な考え方や行動力をもって積極的に参加することにより、彼らが経験する多くの「何か」を日本にフィードバックし、JICA が果たしている役割・機能をより一層深化・向上させることに貢献することが出来るのではないかと思います。

(国際医療福祉大学 医療経営管理学科  
2年 山田 絢加)

=====

\* 皆様からの情報提供、大歓迎です。また、本紙に対するご意見、ご提案などもいただければ幸いです。いずれも中国事務所沈 曉静(shenxiaojing.cn@jica.go.jp)あてにお願いいたします。

=====

\* その他お知らせ

- JICA のホームページ： チヤイナ ライブラリー (和文・中文)
- > <http://www.jica.go.jp/china/library/news/index.html>
  - > <http://www.jica.go.jp/china/chinese/library/01.html>
- チヤイナ トピックス (和文・中文)
- > <http://www.jica.go.jp/china/topics/index.html>
  - > <http://www.jica.go.jp/china/chinese/topics/index.html>

